

感染者ゼロの岩手にも緊急事態宣言

男声合唱団コールM会長 宮野 哲美

岩手県では、全国的な緊急事態宣言が出される前も、一般・大学の合唱団はすべて休止していました。高校の部活は再開していましたが、3密の問題で四苦八苦のようでした。公共施設は多くの自治体が閉鎖。盛岡市と岩手県の施設は一部開いていましたが、その施設の使用についても強く自粛を求められました。

高校野球、高総体は中止が決まり、中総体もその方向ですね。感染者が出たらすぐにでも休止になる雰囲気です。相当なプレッシャーがかかっています。

多分、他の地域の方には岩手県の雰囲気はうまく伝わらないでしょうが、首都圏とはまた違った緊張感があります。最後の感染者ゼロ県になったので、なおさら緊張感が増した感じです。

岩手県は他県よりもやや早めに対策室を立ち上げたので、その効果が出ているのでしょうか。でも時間の問題だと多くの方は考えています。コロナ疎開もあり、近郊の温泉ホテル滞在者が増えているとか。

男声合唱団コールM(盛岡市)は2019年11月13日で結成43年を迎えました。現在はコロナ騒ぎで練習ができていません。前身は1974年12月に解散演奏会をした盛岡メンネルコールです。そのメンバー7~8人で練習を継続。1976年秋に太田代政男先生を中心に、新メンバーも加入して本格的に練習を開始。よく「コールMのMとは何の略ですか」と問われます。ManとかメンネルのM、盛岡のM、太田代政男のMなど、共通するイニシャルがあります。仮に男声合唱団コールMとしたのですが、それが43年続くとは誰が予想したでしょうね。

音取りCDで練習と歌唱動画で楽しんでもらう

声楽家・指揮者 齋藤 詩子

埼玉県白岡市にあるニュータウン自治会、私はその悠友会(老人クラブ)の混声合唱団と歌声クラブ、メンネルコールありの実などを指導させて頂いてます。オンライン合唱はタイムラグという大きな壁があり、なかなか難しそうですね。今のところ、団員には音取りCDで歌ってもらっています。集会所(練習場所)が閉鎖されて2ヶ月、皆さんはどうされているのか、高齢者も多く、とても気になります。何かできる事はないかと考え、思いついたのが歌の動画配信。ニュータウン自治会は広報活動を行なっているケーブルTVがあり、関係者

無料楽譜ダウンロード「みんながピアニスト」プロジェクト 全音楽譜出版社×カワイ出版

カワイ出版 早川 由章

2011年の東日本大震災の復興支援のひとつとして「歌おうNIPPON」プロジェクトを企画しました。作曲家に新曲合唱曲を書いて頂き、それを無料で配信をして皆さんに歌って頂き、その演奏動画を東北の方々に届ける、と言うものでした。そこから松下耕さん「ほらね、」 佐藤賢太郎さん「前へ」などが生まれました。また、石若雅弥さん編曲「アンパンマンのマーチ」の動画は現在までに40万回も再生されています。

そして2020年、新型コロナウイルス感染拡大の緊急事態宣言下でも音楽出版社として何か出来ないか、ずっと考えていました。が、今回は3密になりやすい合唱はダメ。そこで、家庭内で音楽を奏することで少しでも心落ち着けることは出来ないか、という思いから「みんながピアニスト」プロジェクトを企画しました。

この企画はカワイ出版と全音楽譜出版社の出版作品から家庭のホームコンサートに適した作品を無料配信するというもの。音楽に力は無いかもしれませんが、家庭の中に音楽があることはきっと意味があることだと思っています。このプロジェクトを通して、多くの子もたちを中心にピアノの前で親子や家族の団欒が生まれ、コロナに負けない強い絆が出来るとと思っています。いまは、合唱の練習すら出来ませんが、もしご自宅に鍵盤楽器があるのなら、是非楽譜をダウンロードして音を出してください。よろしくお願いいたします。

ダウンロードは<無料楽譜ダウンロード「みんながピアニスト」プロジェクト>で検索して頂くか、あるいは以下のURLをコピーしてアクセスしてください。

http://www.editionkawai.jp/blog/pianist/?fbclid=IwAR2w3XOm85rtQkqDWM6yAk1n69ndITxpDxpVywXvZwReAfcxKazH_7Dag0

の方々に相談したところ快諾を頂きました。早速夫の伴奏で春の歌「鯉のぼり」「朧月夜」「花」の歌唱動画を撮りました。

4/25から配信予定です。一緒に歌って元気になって頂ければ嬉しいです。毎週更新予定です。